

純

縛

成年向

潔

衣





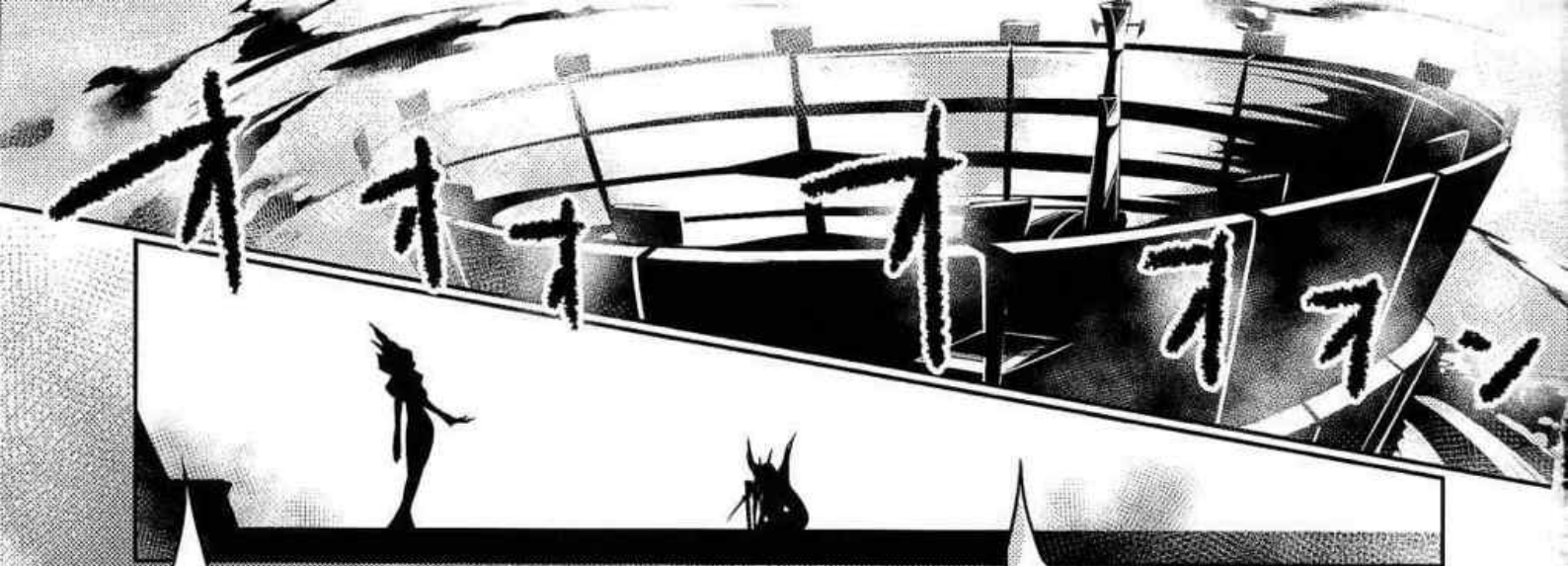
縛  
衣

糸  
舞  
糸









たわんで  
いるぞ？

どうした、皐月







おかしい…

カラダが…熱い



あの夜か…っ

……クツ

フフ  
そうだよ、皐月

あの時の薬湯と  
行った襖…  
生命戦維との  
融和性を高める…

いい具合だろうか？

母は心配して  
いたのだよ？

お前は幼い頃から  
優秀だったが…  
些か女としての  
色艶が欠けている

切り裂く刃のような  
美しさ…

より美しい着こなすと  
悦びがあること  
この羅暁が教えてやろう

その鋭さで無理矢理  
純潔に袖を通す…  
その努力は認めるが

“La vie  
est drôle”

ピキ  
ピキ  
キキ



ああいいぞ、皐月

よい表情かおになってきた

さあ…

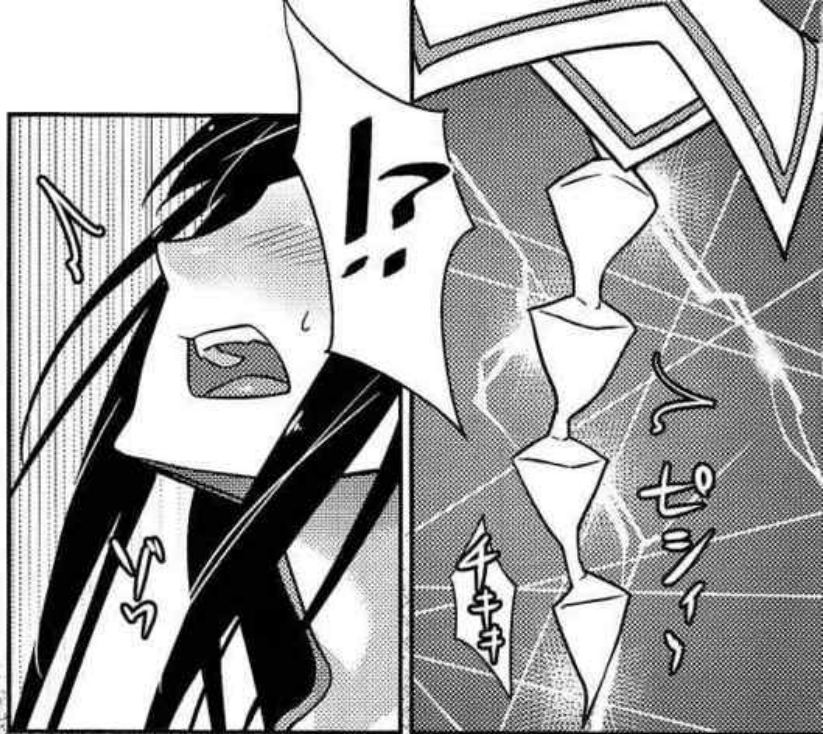
純潔にその身を  
委ねなさい

羅暁…っ





あっ……ぐっ



千キキ

セイヤ



なっ……



純潔……っ  
キサマ……!!

なんの……マネだっ

ハッ

ぶっ

あっ

キキキ

ググ

パキ

ハッ

キキ

キキ

キキ

キキ……











純潔

なっ……これはっ!?

縛

蝕



どうだ？ 皐月  
純潔にカラダを包まれる  
その着心地は

お前が純潔に  
袖を通すのではない

お前の紛い物の  
人衣圧倒などとは  
比べ物になるまい…ん？

お前が純潔に  
着られてこそ  
正しいのだよ？

ガム





無様な人衣圧倒よりは



む、無駄なことだ  
羅暁……

お前も強情だねえ……  
なら母から良いモノを  
プレゼントしてやろう

いくら辱めを  
受けようと  
私は服の為になど  
生きない……

振動性生命戦維の毛玉だ

むしろ純潔へというべきか

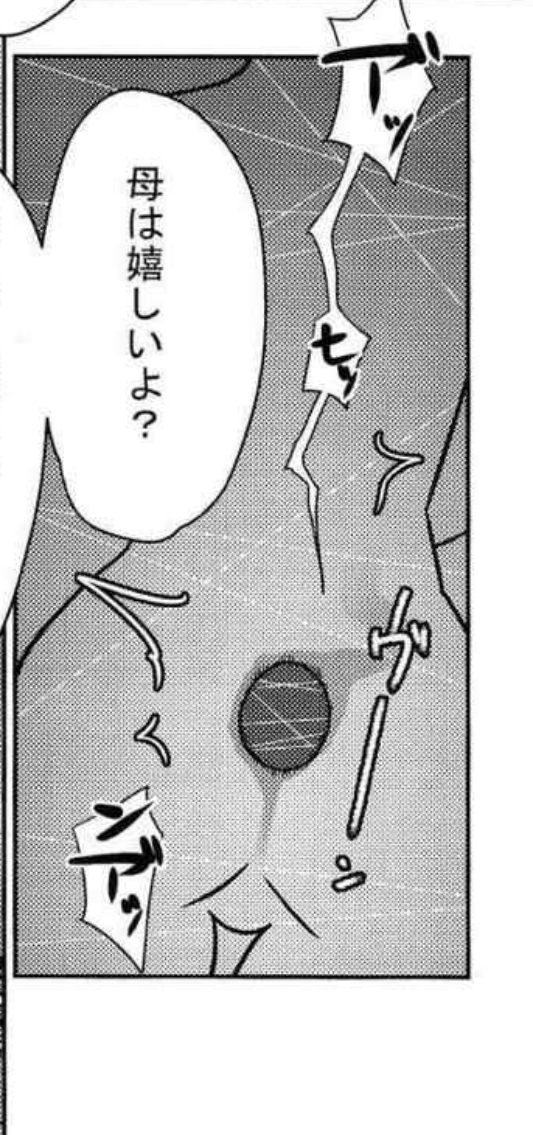
ヌポッ

ウゲッ

グーン  
ガガガガガ

ガガガガガ





ムムムムムム!!

すんなりと  
飲み込んで  
いくようだねえ

プーッ

なっ!!

キサッ

ググググググ

おや、純潔に散々  
穿られただけあって

それじゃ

ようやく臯月も  
鬼龍院の人間として  
生命戦維を受け入れる  
ようになった...

母は嬉しいよ?

イッておいで

セキ

ビク

ビク

セキ

グッ

グッ

ガク

ガク







ほおら

こうして股を開くと

肛門が締まって  
より奥での刺激が  
得られるぞお？

あっ…ああっ

やめろろ…んあつ  
おあああつっ

純潔を  
受け入れたお前も  
中々美しい…

よい声だよ、皐月

ひぐっ

あつ

あつ

ビキキキキキ

ハアッ

ふむ…っ







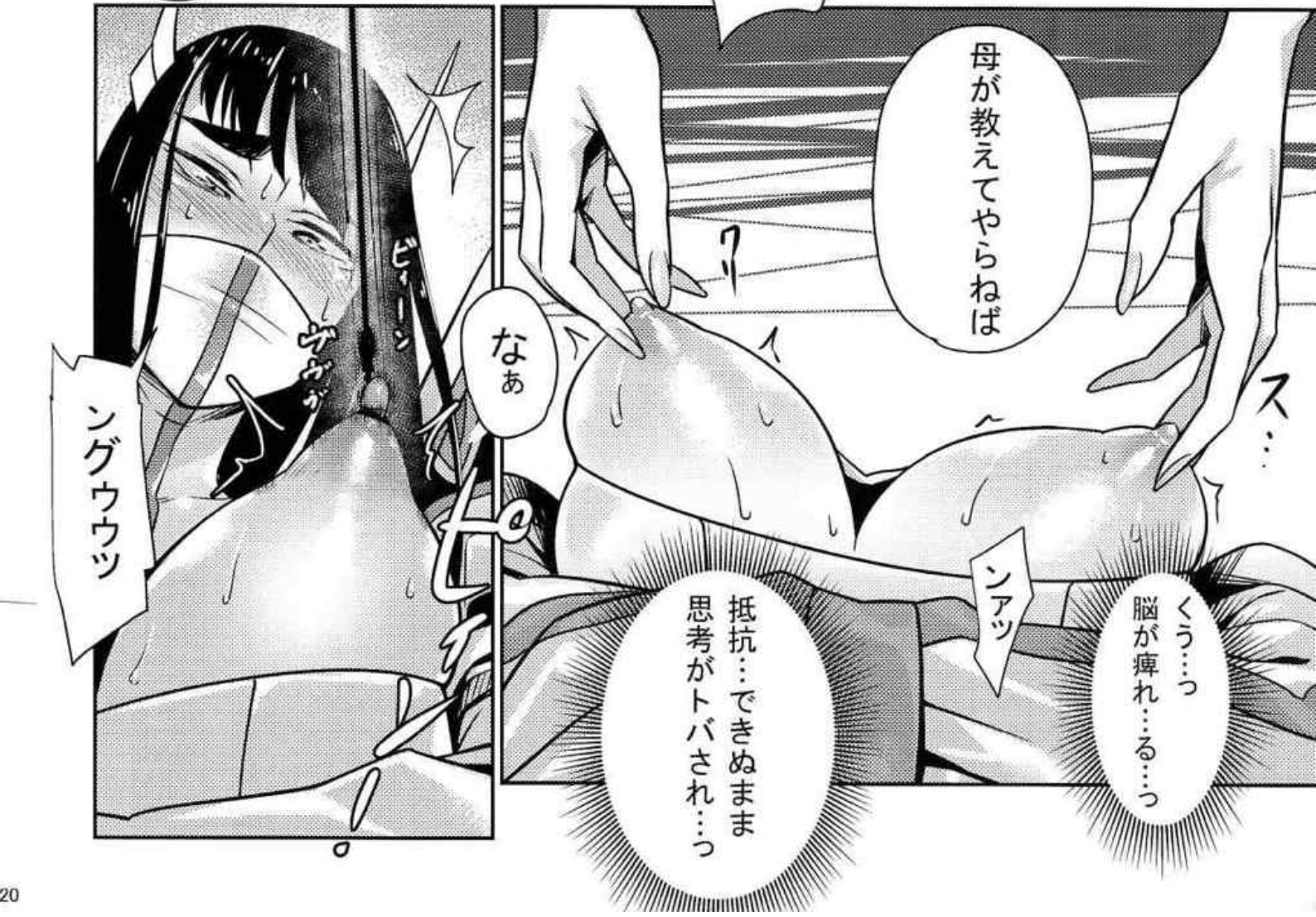


振動性の寝け糸さ

じゃじゃ馬娘にも  
中々にキクだろう？

大層な口を利く前に  
お前も只の女であること

ンフツ…フツ  
ウウウウツ



母が教えてやらねば

なあ

ングウウツ

抵抗…できぬまま  
思考がトバされ…

脳が痺れ…る…



ああ、皐月  
お前がよい声で哭くほどに  
糸も共振しているようだぞ

お前のカラダを  
快樂の電流が貫く度  
生命戦維の糧となつてゆくのだ  
堪らないだろう？

ああ……  
いかん……

このままでは……













お前の余興  
楽しませてもらったよ  
皐月

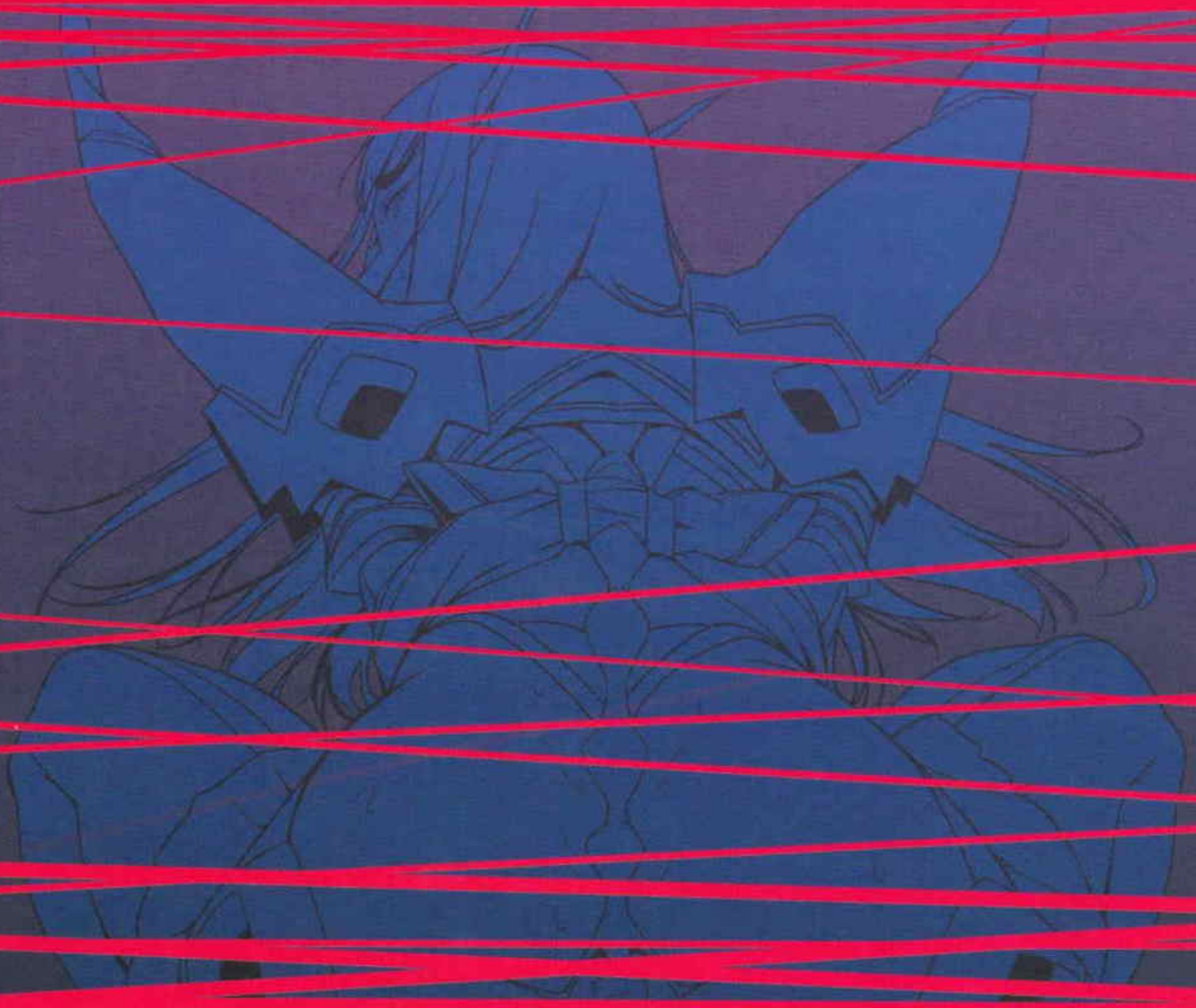
だがやはり  
純潔は返してもらおう  
お前に神衣を纏う器はない

宴を続けるとしよう

きて

ハッ





酔セイ夢シコ